

※一部非公開

平成23年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

次の文章を読み、あとの各問に答えなさい。

非公開

非公開

(出典：岡本夏木, 『幼児期—子どもは世界をどうつかむか—』, 岩波書店, 2005年,
111~115 ページ, 抜粋・一部改変)

注¹ 蹂躪 (じゅうりん) とは, ふみにじること。特に, 暴力や権力によって他人の権利や社会秩序をおかし, ふみにじること。

問1 傍線部分①の「子ども向けの文化」と「子どもの文化」の違いを、本文中の言葉を適宜用いながら、80字以上、100字以内で答えなさい。

問2 傍線部分②はどのようなことを言っていますか。本文の主旨にしたがって100字以上、125字以内で答えなさい。

問3 著者は、「子どものあそび」を「子どもの文化」の典型として位置づけています。あなたが教師になったと仮定して、「子どもの文化」を教育でどのように扱いますか。学校という視点だけでなく、家庭や地域、さらにはそれぞれの連携・協力という視点も含めて、600字以上、700字以内であなたの具体的な案を述べなさい。

平成23年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 子ども地域教育コース

出題の意図

1. 本コースは、子どもの成長・発達を、学校だけでなく地域的な視点を持ち、地域と学校との連携を視野にもつ人材養成に主眼においている。したがって、この問題を通じて、教育的な営みを、学校教育に限定されない幅広い視野をもちながら考えることができるかをみる。
2. 文章を正しく読み取れ、なおかつ的確に表現できるかを評価するために、文中の語彙について、文の主旨にしたがった説明を記述することを求めた（問1と問2の部分）。
3. 自分自身の考えを論理的に構成する力と教育的な営みを学校教育だけでなく幅広い視野で捉えることができる力、さらに新たな教育的取り組みを発想する力を評価するために、文の主旨を踏まえて、自分の考えを論理的に説明することを求めた（問3の部分）。